

侍の日常巻

相馬野馬追には多くの侍が出陣し、勇壮な姿を見せます。でもハレの日は3日間だけ。鎧を脱いだ侍たちの日常を垣間見るべく、普段の暮らしを訪ねるシリーズです。

中島三喜 殿 (73)

役付：軍師



子どもの頃から野馬追は憧れで、この地に生まれたからにはいつか出てみたいと思っていました。大人になってからも、仕事場で畳を縫いながら、騎馬武者が通るのを「かっこいいなあ」って。25歳の時が初陣で、それから1度も休むことなく出場してきました。もうすぐ50回。そこまで出たいし、その後も元氣な限り続けたい。畳屋は親父が1939年に創業して、俺が2代目。東京の畳屋で3年修行した後家業に入り、1975年から内装業も手がけるようになりました。野馬追と畳屋に共通すること？ 熟練の技が必要なことです。ね。長年経験を積んできた者として、野馬追を未来へ伝承していきたいです。

馬先生直伝!! Let's keep your horses GOOD HEALTH 正しい馬の食の仕方 by Dr.KAMIDE



上手健太郎 かみで・けんたろう

兵庫県明石市出身。高校進学から県外へ出て、高知県、ニュージージーランド、大分県、北海道と住まいを移す。仕事の転勤で宮城県山元町へ来てから、古くから馬文化が残る南相馬市に興味を持ち、移住。馬はもちろん、小さな動物も好きで診ている。

第五回：馬のカーミングシグナル(仕草)について

<p>リラックス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目を半分閉じ、舌を出して噛み、頭を回す 	<p>心を落ち着かせようとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 瞬きが早くなったり、遅くなったり、動きを止めたりする ■ 目をそらしたり、頭を背けたりする ■ ときどき唇を舐めてモゴモゴする ■ 仕草を行い、あくびをする ■ トレーニング中に自発的に首をうなだれ、頭を下げる
<p>心配している</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目は三角形になり、上にひだができる ■ 耳は非常に硬くなり、心配する方向を指す ■ 呼吸が浅くなる 	<p>ストレスを感じている</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目をそらし、唇を押し合わせ、あごは三角形になる ■ 地面を足で踏み、鼻孔を広げ、呼吸を短く浅くし、目の上にしわを見せる ■ 鼻を鳴らし、大きな音で呼吸し、背中を固くし、尻尾を持ち上げて振る

トレーニング中に馬の仕草を見て、彼らがどのような状態にあるかを知ることが不可欠であり、基本的なスキルです。動物を訓練するときにはストレスを引き起こさないようにするのは、倫理の問題だけでなく、友人として馬をどのように扱うかでもあります。馬の表情や仕草をくみ取り、理解学習させ、トレーニングと休憩を繰り返して進めていくことが調教を行う上で大切です。

ストレスや恐怖で爆発寸前

- 腹筋を緊張させ、糞をたくさんし、逃げようとし、精神的に心を閉じてしまう
- 目は見開いて恐ろしくなり、鼻孔も広く大きくなる

official site

相馬野馬追



野馬追の見どころ、作法、Q&Aなどなんでも知ることのできる公式サイト。観覧チケットの購入や寄付の窓口にもなっています。迫力ある写真たっぷりのギャラリーページも見ごたえ十分です。最新情報もここでチェック。

museum

南相馬市博物館



地域の歴史や民俗を紹介する常設展に加えて、「野馬追」をテーマとした展示にも力を入れています。神旗争奪戦の様子を等身大で再現している迫力のジオラマ、「相馬野馬追図屏風」などを展示し、武家の伝統を受け継ぐ相馬野馬追の歴史と変遷について紹介しています。もちろん、旗の展示も。

残念ながら2021年も、直に野馬追を観覧することはできませんが、そんな時こそ情報収集。さまざまな「知りたい」に答えるツールを紹介します。(協力：南相馬市立図書館)

野馬追のこと、もっと知りたい!

book

『原町市史』第10巻 特別編III

『野馬追』甲冑・旗帳等 (原町市/2004年)

南相馬市に合併前の原町市の文化、歴史についてまとめられていて、第10巻特別編IIIは、野馬追を華やかにする甲冑、鞍、旗帳について書かれています。旗帳も、カラーで何十ページにもわたって、旗の図柄、使用した家臣の名前などが載っています。

『奥州戦国に相馬奔る』

(近衛龍春著/株式会社 実業之日本社/2020年)

東北の武将という伊達政宗を思い浮かべる方が多いはず。その伊達家に隣接した領地を持ちながら、その領地を守り抜いた相馬野馬追の相馬家を主人公とした歴史小説です。伊達政宗、徳川家康など名立たる武将と渡りあう様子を、相馬家ファンになること必須の1冊。

『野馬追の少年、震災をこえて』

(井上こみち著/PHP研究所/2015年)

野馬追に親子孫の三代で出陣している駿斗は、東日本大震災当時、小学校6年生でした。震災を乗り越え、野馬追を再開の様子を通じて、人だけではなく、動物にとつての震災、野馬追に出陣する家の準備の様子、地域の人々と馬との絆を知ることができます。

『のってるのってる』

(ますだゆうこ・文/石井聖岳・絵/そうえん社/2015年)

男の子が、動物やいろいろなものに乗って、野原やサバンナ、なんと宇宙にまで行ってしまいます。この男の子が最初に乗るのが馬。南相馬の子も達は馬が出てくる絵本が大好きです。

video (南相馬市)

相馬野馬追 2019 総集編

開催の様子を各日30分ずつにまとめてあるので、家にいながらたっぷり野馬追の雰囲気を感じられます。所要所で解説字幕が入るので知識もしっかり身につきますよ。



相馬野馬追 一千年続くその理由

2020年、縮小開催された野馬追の記録を6分に凝縮。総大将の想いのほか、海辺を走る馬の映像美にも胸を打たれます。



「野馬追に出たい」
その夢「初陣世話人制度」が
叶えます!

代々家族がつないできた野馬追。一方で、個人が出場したいと思ってもハードルが高い一面もありました。そこで今年から始まったのが市が窓口となる「初陣世話人制度」。一体どんな制度なのでしょう。

野馬追に出場するには、まず騎馬会への入会が必須。その仲介を市が行います。その後、入会した騎馬会で、「世話人」と呼ばれるベテラン騎馬武者が、馬の手配や出場する手続き等をしっかりサポートしてくれます。

もちろん、出場にあたっては「騎馬会の行事等への参加」、「騎馬会の規則の遵守」などのルールをしっかりと守ること、出場までに腕前に応じた乗馬練習を行うことなども必要です。

その他、相馬野馬追に出場した方に対する「出場奨励金事業」もあり、さまざまな面から初陣を応援する制度が整備されています。

『ミナミソウマガジン』の読者のあなたの初陣もお待ちしています!

お問い合わせ
観光交流課
TEL: 0244-24-5263
MAIL: kankokoryu@city.minamisoma.lg.jp